



町赤十字奉仕団下羽栗分団が ぞうきんの寄贈と寄附

12月4日、町赤十字奉仕団下羽栗分団の皆さんが役場を訪問され、古田町長に「公共施設でお使いください」と手作りぞうきん110枚のほか、町と社会福祉協議会に寄附金を手渡されました。

これは、下羽栗分団が事業の一環として毎年実施しているもので、手作りぞうきんは各公共施設に配布して清掃活動に、町と社会福祉協議会への寄附金は、今後の地域福祉の向上のために活用させていただきます。



専門分野のノウハウを政策に 政策アドバイザー委嘱式

12月16日、笠松町政策アドバイザー（第2号）に獅子門道統四十一世（※）の大野鶴士さん（東陽町）が就任されました。大野さんは「獅子吼」主宰や岐阜県連句協会会長としても活躍されており、今後は、文化や歴史、教育などの分野において専門的な見地から指導や助言をいただきます。大野さんは「笠松町に生まれ育ち、多くのご縁でつながっている。自分の知識や経験を活かしたい」と、抱負を語られました。

※獅子門は、松尾芭蕉や各務支考が県内を中心に広めた連句の世界を現代に受け継ぐ一門で、道統は一門の統率者をさします。



令和2年度岐阜県優秀校に笠松中学校

12月22日、優れた教育内容と積極的な実践教育で成果を上げた県内の小中学校を表彰する「令和2年度岐阜県優秀校表彰（岐阜新聞社主催）」において、優秀校に選ばれた笠松中学校の代表生徒が古田町長に受賞を報告しました。

ICTを活用した授業動画の配信と学習、リモートを活用した広島復興研修、各クラスにおけるSDGsに関する取り組みなど、特色ある取り組みが評価されての受賞となり、その実績を誇らしげに語る代表生徒の姿が印象的でした。



岐阜工業高等学校より手作りの 足踏み式消毒スタンドが寄贈されました

12月25日、岐阜工業高等学校デザイン工学科の皆さんより、手作りの足踏み式消毒スタンドを大小あわせて13基寄贈いただきました。

1月10日に行われた「二十歳の集い」の会場でも活用させていただき、感染者をだすことなく、安全に新成人の二十歳の門出を祝うことが出来ました。寄贈いただいた足踏み式消毒スタンドは、公共施設やイベント会場などで引き続き活用し、新型コロナウイルス感染拡大防止に役立てさせていただきます。